

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名	ぼうがねかくふく 坊金拡幅（一般国道403号）	事業区分	一般国道	事業主体	新潟県	
起終点	自：新潟県上越市安塚区坊金 至：新潟県上越市安塚区坊金	延長	1.4 km			
事業概要	一般国道403号は、新潟県新潟市を起点とし長野県松本市に至る幹線道路である。坊金拡幅は、幅員狭小を解消し、災害・豪雪時における円滑な交通確保を図る2車線道路である。					
H9年度事業化	都市計画決定なし	H10年度用地着手	H12年度工事着手			
全体事業費	13億円	事業進捗率	48%	供用済延長	0.2km	
計画交通量	430台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 2.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 7/13億円 事業費：5/11億円 維持管理費：2/2億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 14/14億円 走行時間短縮便益：14/14億円 走行費用減少便益：0/0億円 交通事故減少便益：0/0億円	基準年 平成18年		
感度分析の結果	交通量変動：B/C=1.2（交通量+10%）、B/C=1.0（交通量-10%） 事業費変動：B/C=1.0（事業費+10%）、B/C=1.2（事業費-10%）					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保・・・ほくほく線・虫川大杉駅へのアクセス向上が見込まれる ・国土・地域ネットワークの構築・・・現道における大型車のすれ違い困難区間を解消する。 ・災害への備え・・・安塚区坊金、細野集落の災害による孤立化を解消する。 <p style="text-align: right;">他4項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	一般国道403号では、沿線市町村で構成される「一般国道403号整備促進期成同盟会」が組織されており、国・県に積極的に要望活動を行っている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	地域特性を生かした冬季キャンドルロードやスキー場、体験型プログラム「越後田舎体験」で、他地域の人との交流が活発化した。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成17年度迄に0.2kmを供用し、残事業は橋梁1橋を含む1.2kmである。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	相続手続きに時間を要している用地があるため、買収済みの箇所から工事を進捗するとともに、それと同時に未買収用地の買収もを進める。					
施設の構造や工法の変更等	特になし。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。